

齋藤 敏寿

筑波大学大学院人間総合科学研究科

平成21年3月9日 Sydney College of the Arts (以下SCA)へ視察と調査を行った。訪れたキャンパスは1996年よりロゼール (Rozelle)にある文化遺産で歴史的建物を使用している。この建物は建築家ジェイムズ・バーネットによって1880年代に設計建造された砂岩造りのヴィクトリア式・新古典的な建造物である。現代の視覚芸術の研究と専門家を養成する学校として、歴史と現代のアートとの融合を積極的に活かしていると第一印象として感じた。

当日は、Professor Colin Rhodes SCA長 (Dean and Director)氏、Associate Professor Brad Buckley (Director, SCA Graduate School)氏、陶磁を教授されていた小路光男 (陶芸家)氏、陶磁領域責任者のLecturers Jan Guy氏、Nerida Olson (Public Relation and Marketing Manager)氏と面会し聞き取り調査を行った。特にNerida Olson氏には、Marketing Managerとしての様々なSCAの情報公開から広報、SCAのアート・リソースに関する情報を聞くことができ貴重な意見交換と調査資料を得ることができた。*(写真参照)今回は、陶磁、ガラス、彫刻、絵画、版画関係の施設を中心に案内をして頂いたが、歴史的建造物とスタジオが非常にマッチして作業のしやすい機能的な構造となっていた。日本の教育システムと特徴的に違う点として、UG1年～3年で卒業し4年次はその卒業生の約10分の1の学生がHonoursとして試験を受けて選ばれる点にある、大学院の学生は約200名が学んでいる。取得できる学位の種類は、BVA(Bachelor of Visual Arts)、BVA Hons (Bachelor of Visual Arts Honours)、MDP (Master of Documentary Photography)、MFDI (Master of Film and Digital Image)、MIDM (Master of Interactive and Digital Media)、MSA (Master of Studio Art)、MVA (Master of Visual Arts)、PhD (Doctor of Philosophy)がある。

SCAのアート・リソースの戦略的な公開・活用の事例として、SCA独自の収蔵作品は無いが、卒業制作作品等は学生の寄付 (SCA学部長の了承が必要)によりキャンパスの主要部分 (学部長室・事務室・ロビー等)に作品が配置されていた、そ

れらの作品はシドニー大学が収蔵品として管理しており、展示替え等も行われているとのことだった。立体作品のキャンパスへの設置はまだ見受けられず、これから広いキャンパスに効果的に設置されるとより芸術学部としての印象が深くなるような気がした。しかし歴史的な建造物全体を使用しての卒業・修了制作展 (DEGREE SHOW)は、2008年約5000人の来場者があり地域を巻き込みアート資産を公開している。またSCAはArts Galleries (ギャラリースペースは2箇所)を独自に運営しており、外部の作家を招集し、展覧会、滞在型ワークショップから講演に至る過程を教育に活かし、イベントを地域に公開し実施結果をSCAのホームページに蓄積し公開している。SCAのホームページはNerida氏が総括管理を行い他に3名の事務職員と、ITの技術サポート職員が更新及びメンテナンスを行っている。広報冊子 (専攻紹介チラシ、卒業・修了制作作品集等)はすべてPDFファイルとしてダウンロードでき、2009年度からは、学生が制作したSCA紹介DVDをホームページにリンクさせるとのこと、完成したDVDを頂いた。企業連携として卒業制作優秀者にはシドニーにある画廊 (Dominik Mersch Gallery)から賞を贈られ個展を開催する。卒業・修了後のサポートとしてのあり方、地域連携として参考になった。また州立で運営しているART SPACEという画廊もSCAと共同で企画立案などを行い発表の場を連携しサポートしている。ITの活用は国際的に国境・距離を無くし、瞬時に情報を伝達しコスト的にも有意義であるが、ローカルメディアも有効に活用しているとのこと、事例として、新聞、ラジオ、TV、DM、アート雑誌、フリーペーパーへの情報提供、企業広告の有効活用 (卒業・修了制作作品集等の図録に企業ロゴを入れることにより運営費・広報費を捻出)などは、今後の筑波大学の芸術組織にも参考になる点が沢山あり短い滞在ではあったが有意義な調査となった。

(さいとう・としじゅ)